

令和元年9月 4日

千葉県高齢者福祉施設協会
会長 田辺信行様

公益社団法人認知症の人と家族の会
千葉県支部代表 廣岡成子

世界アルツハイマー月間広報のお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素から当家族の会に対しご理解とご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

国際アルツハイマー病協会（ADI：100の地域と国が加盟）は1994年に、毎年9月21日を世界アルツハイマーデーとして制定し、この日を中心に世界各国で認知症の理解、介護者への支援を訴える活動を行ってきました。2012年からは9月の1ヶ月間を世界アルツハイマー月間として世界的キャンペーンを行うようになりました。

日本では認知症の人と家族の会が1992年に国際アルツハイマー病協会（ADI）に加盟以来、この日を中心に全国47支部で記念講演会、シンポジウム、街頭での啓発活動に取り組んでいます。

千葉県支部では下記のように活動を計画しております。
なにとぞ趣旨をご理解いただき、ポスターの掲示及びリーフレットの配布、街頭活動、講演会への参加などの広報にご協力頂けます様お願い申し上げます。

敬具

記

リーフレットの街頭配布

日時 9月21日（土） 午前11時～12時
場所 JR千葉駅周辺及びJR津田沼駅周辺

記念講演会

日時 10月11日（金） 午後1時～午後4時
場所 千葉市文化センター 3F アートホール
テーマ 「聞いて 知って 安心 認知症」
講師 講演1 「認知症の人と一緒に地域支援ネットワークを創ろう」
稲田秀樹氏 一般社団法人かまくら認知症ネットワーク代表理事
講演2 「認知症ポジティブ！」
山口晴保氏 認知症介護研究・研修東京センター センター長

千葉県医師会との共催事業「認知症啓発強化週間」

日時 9月27日（金）～ 10月4日（金）
場所 千葉県医師会館1階地域医療総合支援センター

以上

2019 年度「世界アルツハイマーデー」に寄せて

2019 年度「世界アルツハイマーデー」に当たり、一言お祝いの言葉を申し述べます。

国際アルツハイマー病協会が9月21日を世界アルツハイマーデーと定めてから本年度26年目を迎えます。この間、我が国でも「公益社団法人認知症の人と家族の会」が中心となり、認知症に対する理解の向上等の活動が広がってまいりました。鈴木代表理事をはじめ、関係者の皆様の御尽力に深く敬意を表します。

我が国の認知症の方は、2025年には65歳以上の高齢者の5人に1人となることを見込まれています。本年6月18日には、政府一丸となって認知症施策を更に強力に推進するため、「認知症施策推進関係閣僚会議」におきまして、「認知症施策推進大綱」がとりまとめられました。本大綱では、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる「共生」を目指し、「認知症バリアフリー」の取組を進めていくとともに、「共生」の基盤の下、通いの場の拡大などの「予防」の取組を進めることとし、これまでの新オレンジプランと同じく、すべての施策において、認知症の方やご家族の方の意見を踏まえ、施策の立案及び推進を行うことを基本としています。

私自身、大綱の検討にあたって認知症の当事者の方からお話を伺いました。その際に「認知症になってからも希望を失わず、自分らしい暮らしを続けていける社会を創るために、本人として力を尽くしたい」と仰っていたのが印象的でした。厚生労働省としても、引き続き、認知症の方やご家族の皆様と一緒に、「認知症バリアフリー」な社会を関係省庁と連携しながら目指していきたいと考えています。

本大綱では、世界アルツハイマーデー及び月間の機会を捉え、認知症に関する普及・啓発イベントを開催することとしているほか、そのようなイベント等において、認知症の方ご本人からの発信の機会を拡大することとしており、今後、その効果的な手法等を検討し、実施していくこととしています。引き続き普及・啓発活動に尽力してまいります。

「認知症の人と家族の会」の皆さまには、電話相談や認知症カフェの場などにおいて、認知症の方やそのご家族への支援に取り組んでいただいています。認知症とともによりよく生きていくことができる環境をつくっていくために、今後とも御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、認知症の方とその家族の皆様の御多幸と、関係団体の皆様のますますの御発展を祈念して、私のお祝いの言葉といたします。

厚生労働大臣 根本 匠